

テーマ「感染症対策を踏まえた働き方改革」

視点１ 行政との連携や働きかけ

- ・ 就学時健診の市教委実施・・・市施設で実施し、各校特別支援や養教担当等が協力
- ・ 校務支援システム導入に伴う不具合や課題等を市教委との連携で一つ一つ解消することで、業務を効率化し、入力や検閲等の負担を軽減。
- ・ ２学期制導入を市教委に継続提案し、検討協議する。他市の状況を見ていく。
- ・ 地域サポーター（登下校時安全見守りや授業支援、書写指導、環境整備など）への交通費補助（生涯学習課）など、サポーターが協力しやすい環境を整備。
- ・ 小学校英語専科加配により、担任に空き時間を確保。専科加配（理科など）により担任の負担を減らし、働き方改革を積極的に進めるよう市教委へ働きかける。
- ・ 教育委員会から発出する文書の精選・・・重要度の低い文書は「連絡掲示板」で周知することで文書受付業務を軽減させる。
- ・ 業者による学校内消毒作業・・・放課後消毒の負担を減らせた。
- ・ 新型コロナ感染症対策で学校行事や校外学習等のバスの密を避けるためバス台数を増やす対応が必要となり、バス料金の差額分を市教委が補助。感染症対応で学校の負担の少ないよう市教委と連携して取り組んだ。

視点２ 自校での取組

- ・ 会議効率化・・・検討事項と確認事項に分け、時間短縮＝勤務時間内に収める。
- ・ 特別日課による期末事務整理期間設定により期末事務時間を確保。
- ・ 組織対応・・・学校だけで解決しようとせず、外部（市教委、生安課、児相等）を頼る。
- ・ 行事精選・・・前年度踏襲の脱却。文書で済む会議は省略。中止の会議は今後も中止。
- ・ 定時退勤者の可視化・・・定時退勤日を設定に黒板にネームプレートを貼る。
- ・ 留守番電話活用により、勤務時間外の職員の対応を軽減。
- ・ 複数顧問制、毎週月曜隔週水曜の部活休みによる負担軽減。
- ・ 部活動指導員の積極的活用による地域移行の推進。

視点３ 次年度に取り組みたいテーマ

- ・ ２学期制導入に向けた検討。
- ・ 外郭団体との連携の観点から、ロータリークラブ、ライオンズクラブとの連携。
- ・ 学校行事や職員研修、教育研究会研修の精選・・・新型コロナ対応で中止縮小した行事
- ・ 高学年での教科担任制（交換授業）
- ・ 部活動朝練習の廃止検討。部活動を運営できる市民（外部指導者、部活動指導員）の募集。